



野岳の自然が誇り



自然豊かな松原地区の野岳町。ここで農業を営む太田善行さんは、春の「のだけ新茶まつり」、秋の「ひがん花まつり」の仕掛人です。気の合う仲間たちと祭りを立ち上げ、今では多くの人が訪れる、春秋の大村の大イベントになっています。

今年29回目を迎えた「のだけ新茶まつり」。地域の活性を願って始めた祭りは、当初道端に出店を並べるだけの小さな祭りでした。今では約4万人が訪れる「グーグルウィークのビッグイベント」に。太田さんは、「仲間の協力があつてこそ。盛り上がったからやめられなくなりました。『継続は力なり』ですね。」と笑います。

秋の「ひがん花まつり」は今年で22回目。新茶まつりのメンバーで始め、今では市内はもとより、市外・県外からも訪れる名所になりました。「イノシシの被害や草取り、咲く時期の調整など、自然が相手なのでむずかしい。」と苦労が絶えないそうですが、「今年も見事に咲かせて、訪れる人々を楽しませたい。」と太田さんは意気込んでいます。

太田さんが生まれ育った野岳地区。「市街地に比べ開発は遅れていますが、緑豊かな自然がなよりの誇り。」といいます。「野岳で楽しんで、また訪れてもらえれば地域も盛り上がるはず。ぜひ実り多き野岳に親子で遊びに来てほしい。」と太田さん。9月の連休の「ひがん花まつり」で、花見客との出会いを楽しみにしています。



Profile

おおた・よしゆき
昭和19年4月3日生まれ
大村市出身。
野岳町で農業を営む。松原地区を活性させようと、仲間たちと、29年前から「のだけ新茶まつり」を、22年前からは「ひがん花まつり」を始める。長年両まつりの実行委員長を務める。71歳。

のだけ新茶まつり実行委員長
ひがん花まつり実行委員長

太田 善行さん



クローズ
アップ

大村人

vol.10

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。